

岩手教区報

第315号
立教182年3月1日
天理教岩手教務支庁
盛岡市馬場町3番40号
TEL 019-622-7962
FAX 019-623-9597



学生の徳分を伸ばそう

学生担当委員長・九戸支部長 権谷正一

とても大きい声では言えませんが、私は注射が苦手です。それでも先月、移動献血車にて献血をさせて頂きました。注射が嫌いな私が献血を始めたきっかけは、天理高校時代に、「クラブのみんなで、何か人のためになることを！ それなら献血を！」という展開になったことです。ズバリ、勢いでした。私の血液型はO型のRHマイナスで、数千人に1人という貴重な血液型のため、過去には血液センターから輸血の要請が来たこともあります。限られた人にしかできないことが、私にできるという徳分を神様から頂いているのだと感じました。

神様は、人それぞれに徳分を与えて下さっています。徳分には、一生与えて頂くものもあれば、期間限定の徳分もあると思います。学生という限られた年代には、居るだけで周囲に元気と明るさを与える、覚えやすく忘れにくい、少々なことは勢いで克服し、思いもしないことを成し遂げる、などの徳分があると思います。こうした徳分は、陽気ぐらしをするように親神様が与えて下されたもので、徳分はまさしく「宝」といえます。

私はこれまで学生担当委員長という、学生層育成の大切な役目を頂いてきました。これまで、学生自身が自分の徳分に気づき、それを伸ばして貰い、生涯かけて信仰の歩みを進め、教会に繋がってほしいという思いでつとめてきました。

そうした中、岩手沢分教会の高野慎司さんが、今年の1月から岩手教区学生会委員長として、まさに勢いと熱意で春の学生おぢばがえりの準備を進めてくれています。実に頼もしい限りです。何よりも親神様、教祖が、どれほどお喜び下さっておられることでしょう。こうした学生の輪に、一人も多く加わって頂きたいと思います。そのために、皆様の周囲におられる学生さんの背中を押してあげてほしいのです。1回の参加が学生さん的人生を変える機会になると思います。道の次代を担う若人が陽気ぐらしへの歩みを進める徳分を伸ばして頂けるよう、この3月に予定されている春の学生おぢばがえりの参加につきまして、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。



「賢治の願い」

宮澤賢治は花巻が生んだ国民的詩人、童話作家、或いは農芸化学者というべきか、あまりに多彩な活動をした人物だ。賢治の名前を知らない人でも、「雨ニモ負ケズ 風ニモマケズ」で始まるこの詩を知らない人は少ないだろう。

発生からまる8年になるが、平成23年3月11日多くの犠牲者を出した東日本大震災の後、賢治の詩はあちこちで取り上げられ朗読された。中でも震災の一カ月後、アメリカの追悼式典の中で、英語に訳された賢治の「雨ニモマケズ」が朗読された事が多くの国に報道され、感銘を与えたと言われている。

明治29年、賢治が生まれた4日後には陸羽地震が起きた。そして亡くなった昭和8年には昭和三陸地震による大津波で、東北地方は壊滅的打撃を受けている。

そればかりか、生前の賢治は毎年のように冷害、旱魃、豪雨などによる飢饉や東北の悲惨と向き合いながら、目の前の農民の苦しみに耐えかね、農家の稲作指導にも時間を惜しまず走り回った無理が健康を害し、病に倒れるものとなったとも言える。

賢治の一生はまさに自然災害に振り回された東北の歴史を象徴するかのごとく、その祈りは正に東北の復興に他ならなかったと思う。

前出の詩に続いて「東ニ病氣ノコドモアレバ行ツテ看病シテヤリ 西ニツカレタ母アレバ行ツテソノ稲ノタバヲ負イ 南ニ死ニソウナヒトアレバ行ツテコワガラナクテモイイトイイ 北ニケンカヤソシヨウガアレバツマラナイカラヤメロトイイ(後略)」と、賢治は苦しむ人のために身を粉にして働く人間像を目指して、生涯をふるさとのために捧げ切った人でもある。賢治は決して雨風に負けぬ頑健な人ではなく、むしろ虚弱であり、欲もあれば怒る日もあったに違いない。なればこそ詩の最後に、「ソウイウモノニワタシハナリタイ」という願いで結ばれている。お互いの信仰の日々もまた、人たすけの心、限りなく成人させて頂きたいものである。

「ようぼく成人講座」開催予定(3月分)
気仙31日(日) 盛分13時「講師 権谷正一」

計報

瀧澤キミヨ(91歳)
一関支部・磐長分教会長
平成31年1月7日出直された。

長野道男(76歳)
九戸支部・岩手久慈分教会長
平成31年2月17日出直された。

行事予定

【3月分】

- 2日 主事会(9時)
- 〃 献血推進研修会(10時)
- 〃 役員会議(11時)
- 8日 学生担当委員会例会(19時)
- 10日 学生会例会(10時)
- 〃 青年会教区ひのきしんデー(9時)
- 〃 青年会例会(15時)
- 13日 婦人会例会(10時半)
- 16日 ようぼく成人講座
- 〃 講師・司会者勉強会(10時)
- 17日 女子青年例会(10時)
- 〃 祭儀式勉強会(10時)
- 26〃30日 春の学生おぢばがえり教区団体

平成31年度 教区活動計画

【教区】

6月2日 決算地方委員会
10月30日 教会長夫妻研修会
11月10日 雅楽初心者講習会
12月16日 行事調整・予算会議
1月16日 予算地方委員会
2月29日 祭儀式勉強会

【婦人会】

5月12日 後継者勉強会
6月2日 女子青年リーダー親睦会
6月9日 会員決起の集い(宮古港分)
6月30日 会員決起の集い(浄法寺分)
7月14日 会員決起の集い(磐井分)
9月1日 会員決起の集い(教務支庁)
11月2～4日 女子青年団参

【青年会】

4月13日 支部リーダーカンファレンス
6月16日 若者の集い
9月15日 教区にをいがけデー
11月17日 球技大会(室内競技)
2月9日 ユースワークショップ
(教理勉強会2020)
3月15日 教区ひのきしんデー

【少年会】

7月21日 少ひ隊教区練成会
7月28日～8月1日 こどもおちばがえり団体

12月1日 第46回おつとめまなび総会
3月19日 わかぎの集い
5～10月 鼓笛体験教室(於各支部)
【学生会・学生担当委員会】
4月28日 桜まつり(新入生歓迎会)
6月2日 学生層育成者講習会
8月 ワーク&トーク²⁰¹⁹in山形
9月16日 道の学生ひのきしんデー
11月上旬 まなびば教区研修会
11月30日 第37回学生会総会
11月30日～12月1日 高校生の集い「まなびば」

【道の教職員の集い】

2月 東北ブロックリーダー研修会(秋田)
3月26～30日 春の学生おちばがえり団体
5月11日 第44回総会
8月10～12日 第40回夏の勉強会
(成人塾)
10月19～20日 東北ブロック大会
(秋田)
11月16日 第12回陽気フォーラム

【災害隊】

5月29～31日 東北・北海道ブロック訓練(秋田)
10月15～16日 教務支庁剪定ひのきしん
11月14～15日 支部幹部研修会
(支庁舎清掃)



献血推進委員会

「献血ひのきしん」実施報告

年末の「クリスマスキャンペーン」に続き、2月2日(土)「バレンタイン献血キャンペーン2019」が、イオンモール盛岡南で各ボランティア団体が参加し実施された。



「岩手教区献血たすけあいの会」も、九戸・二戸・盛岡の3支部より、午前11人、午後9人の参加者をえて、呼びかけひのきしんを行った。献血者の減少は深刻とのことだが、最近他のボランティア団体の参加人数も少なくなってきた模様。結果は400ml献血者が37人(受付43人)だった。
本年も4月29日の全教一斉ひのきしんデーには、教務支庁に献血車を配車していただきます。是非大勢のご協力をお願いします。

【厚生部】

4月29日 全教一斉ひのきしんデー献血
12月1日 年末献血ひのきしん
2月1日 年始献血ひのきしん
3月2日 教区献血推進研修会

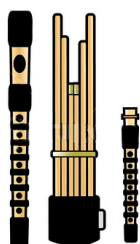


祭事部

「雅楽初心者講習会」実施さる

教区祭事部は、2月10日、雅楽初心者講習会を実施、中学生を含む5人が受講した。講師は、筆策・田中範道五戸分教会教人、笙・権谷正一南平分教会長、龍笛・権谷一平南平分教会長後継者。

午前は、管ごとに楽器の説明に始まり、主に『越天楽』の演奏を学んだ。午後は、細部にわたる指導となり、最後に合奏を行った。初受講者も正しい演奏方法を学び、雅楽の楽しさを感じることもあった。最近、教区管内で雅楽を入れての葬儀が多くなっています。楽人の育成の上に今後もお心寄せをお願い致します。



青年会

教区ひのきしんデー

【3月10日】

教区青年会では、左記の要項にて「教区ひのきしんデー」を実施します。今月11日、東日本大震災から8年がたちます。震災後、実に多くの方が世界中から駆けつけて下さり、私達はたすけ合いの尊さを学びました。震災を後世に語り継いでいく上でも、この岩手に住まう若い教友が一つ心でつとめ続けることが大切です。一人でも多くの方に参加頂き、有意義な時としたいと思っておりますので、ご参加の程よろしくお願い致します。

記

日時 3月10日(日)9時集合
場所 陸前高田市小友町牡蠣小屋広田
集合 陸前高田市小友町小崎下セブンイレブン
対象 青年会員及びOB(45歳位迄)
申込み 委員長 相澤(090-7663-7581)まで

祭儀式勉強会【3月17日】

祭事部は、来る3月17日(日)教務支庁において、祭儀式勉強会を開催します。今回は、葬儀における斎服(重服・浄衣)の着付けとたたみ方について勉強します。なお、着付けは3人1組となっており、行いますので、多数ご参加頂きますようご案内いたします。また、ご婦人の方の参加も歓迎します。

記

日時 3月17日(日)10時
会場 教務支庁
講師 鈴木眞理祭事部長
受講費 千円(昼食・テキスト代含む)
持ち物 斎服(重服・浄衣)、衣装敷き(持参できる方)、長襦袢、筆記具
服装 ハッピ、足袋(タビックス)申込み 支部で取りまとめ3月10日迄

